

(5枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

1 科目「ビジネス基礎」に関して、次の1～5に答えなさい。

- ワークライフバランスとは、どのような生き方のことですか。簡潔に書きなさい。
- 少子高齢化が進む地域や過疎地域では、買い物難民（買い物弱者）という社会現象が問題となっています。買い物難民（買い物弱者）とは、どのような人ですか。簡潔に書きなさい。
- プライベート・ブランド商品とは、どのような商品ですか。ナショナル・ブランド商品との違いを踏まえ、簡潔に書きなさい。
- 近年、インターネットや人工知能などの情報技術が急激に進化し、暗号資産（仮想通貨）を活用した新しい金融サービスが注目を集めています。暗号資産（仮想通貨）とは、どのような電子データですか。簡潔に書きなさい。
- ビジネス計算に関して、次の(1)・(2)に答えなさい。
 (1) ある株式を1株につき ¥ 500 で10,000株購入しました。支払総額はいくらになりますか。求めなさい。ただし、約定代金の0.8640 % に ¥ 3,300 を加えた手数料を支払うものとします。
 (2) 仕入原価 ¥ 60,000 の商品を予定売価から ¥ 4,000 値引きして販売しても、なお仕入原価の2割の利益を得るには、予定売価をいくらにすればよいですか。求めなさい。

2 平成30年3月告示の高等学校学習指導要領 商業 に関して、次の1・2に答えなさい。

- 目標 (1) には、「商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。」と示されています。体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにするとは、どのような知識や技術を身に付けることですか。簡潔に書きなさい。
- 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い 1 には、指導計画の作成に当たっての配慮事項が5つ示されています。どのようなことが示されていますか。簡潔に2つ書きなさい。

3 マーケティングに関して、次の1・2に答えなさい。

- ある商品について、140円で販売していたときの売上数量が100個だったとします。この商品を150円に値上げしたときに売上数量が80個に変化した場合、需要の価格弾力性はいくらになりますか。次の式を用いて求めなさい。(計算の最終で小数第1位未満四捨五入)

需要の価格弾力性を求める式 $\left \frac{\text{売上数量の変化量} \div \text{売上数量}}{\text{価格変化額} \div \text{価格}} \right $
--

- 現代の消費者のコミュニケーションに合わせて、AIDMAモデルを基礎としたAISASモデルが考案されました。AISASモデルとは、どのようなモデルですか。AIDMAモデルとの違いを踏まえ、簡潔に書きなさい。

5 高等学校 商業科 問題用紙

(5枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

4 観光ビジネスに関して、次の1・2に答えなさい。

1 観光庁が2019年に公表した資料「持続可能な観光先進国に向けて」によれば、訪日外国人旅行者数は、2012年以降右肩上がりに伸び続け、国内各地に消費の拡大や雇用の誘発等の効果をもたらしてきました。一方で、持続可能(サステナブル)な観光を実現するために向き合わなければならない課題の一つとして、オーバーツーリズムが挙げられます。オーバーツーリズムとは、どのような現象ですか。簡潔に書きなさい。

2 新型コロナウイルスの感染拡大により、観光産業が大きな打撃を受ける中、観光産業の活性化に向けてマイクロツーリズムが提唱されています。マイクロツーリズムとは、どのような旅行ですか。マイクロツーリズムの事例について述べた次の資料中の語句を用いて、簡潔に書きなさい。

[資料]

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

5 グローバル経済に関して、次の1・2に答えなさい。

1 近年、ESG投資が国連の持続可能な開発目標(SDGs)と合わせて注目されています。ESG投資とは、どのような投資ですか。簡潔に書きなさい。

2 平成30年3月告示の高等学校学習指導要領 商業 ビジネス・コミュニケーション 内容 (4) ビジネスと外国語 中には、「ビジネスの会話」について指導することと示されています。ビジネスにおけるコミュニケーションに必要な資質・能力を育成するためには、どのような学習活動が考えられますか。簡潔に書きなさい。

5 高等学校 商業科 問題用紙

(5枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

6 会計に関して、次の1・2に答えなさい。

1 A社では、外貨建取引を行っています。次の資料を基に、下の(1)～(3)に答えなさい。

[資料]

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(1) 純仕入高の金額は、円でいくらになりますか。求めなさい。

(2) 為替差損益の金額は、円でいくらになりますか。求めなさい。なお、為替差益の場合は「益」、為替差損の場合は「損」と解答欄の()内に記入しなさい。

(3) 買掛金期末残高の金額は、円でいくらになりますか。求めなさい。

2 A工場では、実際個別原価計算を行っています。次の資料を基に、下の(1)・(2)に答えなさい。

[資料]

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

仕 掛 品		(単位：円)	
月初有高	()	当月完成高	(②)
当月製造費用：		月末有高	()
直接材料費	(①)		
直接労務費	()		
製造間接費	()		
計	()		
	()		()

製 品		(単位：円)	
月初有高	()	売上原価	(③)
当月完成高	()	月末有高	()
	()		()

(1) 仕掛品勘定について、①・②に記入する金額は、いくらになりますか。それぞれ求めなさい。

(2) 製品勘定について、③に記入する金額は、いくらになりますか。求めなさい。

5 高等学校 商業科 問題用紙

(5枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

7 ビジネス情報に関して、次の1～3に答えなさい。

1 次の図は、ある仕事の作業工程と各作業に必要な日数を表したアローダイアグラムを示したものです。下の(1)・(2)に答えなさい。

[図]

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(1) この仕事が完了するまでにかかる最短所要日数は何日ですか。求めなさい。

(2) この仕事が完了するまでにかかる最長所要日数は何日ですか。求めなさい。

2 ある企業でAさんが取引先のBさん宛てに電子メールを送る際、参考までにCさんとDさんにも同じ内容の電子メールを送ることとします。このとき、Dさんにも電子メールを送っていることをBさんとCさんには知らせたくない場合、次のア～エのうち、電子メールの送り先の組合せとして正しいものはどれですか。その記号を書きなさい。

- | | | |
|----------------|-----------|---------|
| ア To (B) | Cc (C) | Bcc (D) |
| イ To (B) | Cc (D) | Bcc (C) |
| ウ To (B, C) | Cc (C, D) | Bcc (D) |
| エ To (B, C, D) | Cc (D) | Bcc (C) |

3 次の資料は、A社とB社におけるプログラムの開発期間及び開発コストを示したものです。30本のプログラム開発をA社又はB社に委託する場合、次のア～エのうち、開発期間が短く、開発コストが低い会社の組合せとして正しいものはどれですか。その記号を書きなさい。

[資料]

- ・ A社 生産性：プログラム1本を5日で作成 コスト：7万円/日
- ・ B社 生産性：プログラム1本を6日で作成 コスト：5万円/日
- ・ プログラムは1本ずつ順に作成する。

	開発期間が短い	開発コストが低い
ア	A社	A社
イ	B社	A社
ウ	A社	B社
エ	B社	B社

(5枚のうち5)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 8 科目「ビジネス基礎」において、次の資料Ⅰのとおり、地域のビジネスにおける課題を発見し、解決に向けて取り組む授業を行うこととします。資料Ⅲに示した本時の目標を達成させるために、どのような授業を展開しますか。資料Ⅰ～Ⅲを踏まえ、本時の授業計画を簡潔に書きなさい。

〔資料Ⅰ〕

学科・学年・生徒数	商業科・1学年・40名		
科目名	ビジネス基礎		
単元名	身近な地域のビジネス		
単元の目標	(1) 身近な地域の課題について理解するとともに、課題解決に繋がる知識と技術を身に付けるようにする。 (2) 身近な地域の課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題を絞りこみ、地域の魅力を活用して解決する力を養う。 (3) 身近な地域の課題を解決する力を身に付けることを目指して自ら学び、地域の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		
単元の評価規準	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の課題について理解している。 身近な地域の課題解決に繋がる知識と技術を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の課題を発見し、科学的な根拠に基づいて解決を目指す課題を絞りこんでいる。 身近な地域が抱える課題に対して、地域の魅力を活用して解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の課題を解決する力を身に付けることを目指して自ら学ぼうとしている。 地域の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
単元計画 (全8時間)	時数	主な学習内容	
	1・2	<ul style="list-style-type: none"> 地域ブランディングの目的・意義について知る。 地域の人の動き・産業・経済について調べ、地域の特徴をつかむ。 	
	3 (本時)		
	4・5	<ul style="list-style-type: none"> 絞りこんだ課題について、課題解決のためのアイデアを考える。 グループごとにアイデアの発表資料を作成する。 	
	6	<ul style="list-style-type: none"> クラス内でアイデアの共有を行うために、グループごとに発表を行う。 アイデアに対して、フィードバックシートを用いて相互評価を行う。 	
	7・8	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を基に、個人でアイデアのブラッシュアップを行う。 身に付けた知識・技術等を確認して、今後の学習にどう活かしていくかまとめる。 	

〔資料Ⅱ〕

【生徒の学習状況等】

- 本単元は「ビジネス基礎」の学習において最後の単元に当たる。情報の収集・分析や討論の方法については、すでに学習している。
- 本時では思考ツールを活用したグループ活動を取り入れることにした。

〔資料Ⅲ〕

【本時の目標】

身近な地域の課題を発見し、科学的な根拠に基づいて解決を目指す課題を絞りこむことができる。

5

高等学校 商業科 解答用紙

(3枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄
1	1	
	2	
	3	
	4	
	5	(1) [円] (2) [円]
2	1	
	2	
3	1	
	2	

5

高等学校 商業科 解答用紙

.(3枚のうち2)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号		解答欄		
4	1			
	2			
5	1			
	2			
6	1	(1)	[円]	
		(2) 為替差 ()	[円]	
		(3)	[円]	
	2	(1)	①	
			②	
		(2)	③	
7	1	(1)	[日]	
		(2)	[日]	
	2			
	3			

5

高等学校 商業科 解答用紙

(3枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号	解答欄			
	過程	学習活動	指導上の留意点 (◆努力を要する状況と判断した生徒 への指導の手立て)	評価規準 (評価方法)
8				